



## ■人生 100 年時代到来に向けて思う事

今月、このページを担当する金子清一です。昨年よりシニアクラブ会計監査を担っております。どうぞよろしくお願いいたします。



▶ 今年も敬老の日がやってきます。毎年 100 歳以上の人口が発表されており昨年 9 月 1 日現在では 9 万 5000 人を超え、前年より 3000 人近く増加し 54 年連続で過去最多を更新しています。

私は現在生命保険業界で働いていますので総務省より発表される数字は否が応でも意識させられています。今回は「人生 100 年時代到来に向けて」思う事を私見ではありますが記させていただきます。

### ▶ 長生きのリスクを考える

長生きする事は大変喜ばしい事ではありますが、一方でリスクに対する対策も不可欠となります。老後生活に対する不安要素は大きく「金銭面」と「健康面」の二つの側面があると思っています。「金銭面」については言うまでもなく、平均寿命が延びている以上「お金の寿命」も伸ばす必要があります。折角蓄えた大切な資産を長生きさせなくてはなりません。収入源を確保する事も必要ですがお金を「減らさない」工夫が何より大事だと思っています。資金の分散、インフレリスクへの対策、保障の確保、税制面における制度の有効活用などが考えられます。一方で特殊詐欺の被害などで資産を失わないように気を付けることも大切です。

▶ さらに「健康面」については健康管理が最も大切です。年齢とともに三大疾病(ガン、心疾患、脳血管疾患)の罹患率が上がってきますが早期発見により大事に至らずに済んでいるのも事実です。

現役社員の時は健康診断が義務付けられておりましたが現役を退いても定期的な健康診断は是非行って欲しいと思っています。しかしながら健康管理をしていたとしても長生きのリスクのなかには「認知症」のリスクが避けて通れません。

2025 年には 65 歳以上人口の 20%が認知症を有していると推定されています。認知症になってしまうと「意思確認」ができなくなり、例えば銀行窓口での資金の引き出し、株式や不動産の売却、各種契約(解約)手続き等ができなくなります。相続関係にも大きな影響が出てきます。認知症のリスクに対する備えはとかく見逃しやすく、なってしまうと手遅れで何も対策が打てません。

### ▶ 健康寿命を意識する

健康的に生活できる期間を示す「健康寿命」は男性が 72.57 歳、女性が 75.45 歳となっておりここ数年大きな変化は起こっておりません。

健康なうちに仕事や趣味、ボランティア活動等好きな事を思う存分やりながら長生きの二つのリスクに備えることが大切です。

シニアクラブを通してこのリスクを少しでも低減できるようにお互いを合わせて活動しましょう。



## ■ ロシア・ウクライナ戦争の行方

ロシア、ウクライナ戦争は3年半も続いています。トランプ・プーチン両者の直接会談が8月に行われ、和平への動きが見えてきたかのようですが・・・



写真 CNN.co.jp

プーチン大統領は開戦前、ウクライナを3日で全域制覇できると夢見ていたのでしょう。トランプ氏は大統領選に臨んでいた時には「俺なら24時間でこの戦争は終わらせる!」と豪語していました。結局どちらもその思惑は外れとなってしまいました。

そもそもなぜこの戦争が起こったのでしょうか。NATOの東方進出にプーチン氏が危機感を持ったためといわれ、身内と考えるウクライナをロシアの傀儡政権で支配しようと考えていたようです。

2014年、かつてロシア領であったクリミアを取戻そうとするプーチン氏の企てでクリミアに攻め込みわずか数日のうちにロシアに編入してしまいました。

その時の成功体験がプーチン氏にあったのでしょう。ウクライナはその時の反省から国土防衛増強に大きな力を注いできました。その結果、2022年の「特別軍事作戦」による短期間でのウクライナ全土掌握は達成できなかったわけです。

トランプ・プーチン会談では和平協定を進めるという方向で話が進められたようですが、一方の当事者であるウクライナのゼレンスキー大統領はまずは停戦を主張しています。トランプ・プーチン会談中にもロシアはウクライナにドローン攻撃を続けていました。

ゼレンスキー氏にしてみれば、このような中での戦争終結交渉などできるわけがないでしょう。

トランプ・プーチンがウクライナの頭越しで何かを決めるなどもってのほかと言わねばなりません。

ロシアにしてみると「これだけのエネルギーを注いで得るものが全く無し」、ウクライナにしてみると「強盗に領土を渡せるはずが無し」、という状況下では戦争終結交渉は困難としか言えません。

プーチン氏が抱いた危機感“NATO東方進出”は自身が醸し出すロシアの脅威増大が原因では？

ロシア国民の厭戦気分の高まりや生活の支障から生ずる内部からの反発が終戦の特効薬でしょう。

## ■ 暑さ記録更新 41.8℃

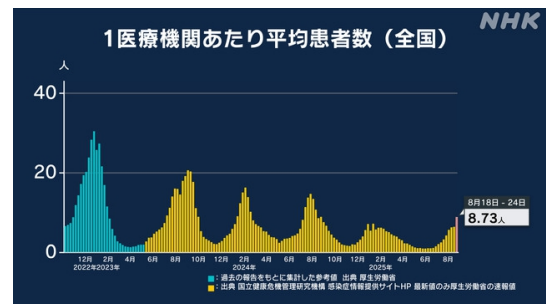
今年の夏は猛暑日の連続でした。と、過去形で表現するにはまだ相当に早そうです。9月に入っても真夏が続くようでもまだまだ猛暑日があるでしょう。

8月5日には群馬県伊勢崎市で国内過去最高の41.8℃を記録し、関東地方を中心に全国14地点で40℃越えを記録したとのことです。

過去の最高気温を調べてみると、2018年に埼玉県熊谷市で41.1℃を記録し、2020年に静岡県浜松市で同じ41.1℃と長らくこれが日本の最高気温でした。これを今年7月30日に兵庫県丹波市で41.2℃と記録更新したばかりでしたが、今回これを一気に大幅更新してしまいました。この日2番目だった埼玉県鳩山町でも41.4℃です。

この調子でいくと、来年にも記録はまたすぐに破られていってしまうのではないのでしょうか。こんな記録更新は全くうれしくない話です。

熱中症患者も毎日のように救急搬送されていますが、ここで気になるのが新型コロナの動向です。



<https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/>

毎年冬、夏にピークを記録しています。強烈なものの痛みを伴う「ニンバス」という変種が暴れだしており、今後どこまでピークを伸ばすのか心配です。猛暑の中、マスクをするのも煩わしいところですがお互い十分に気を付けましょう。

## ■ 活動報告

☆ニューオリンズジャズフェスティバル  
(8/21) <http://jvc-senior.com/page357.html>

☆Online 会合報告 (8/26)  
<http://jvc-senior.com/20250826online.pdf>

それぞれホームページをご覧ください。

## ■ 事務局から

☆第24回総会案内を同封しましたのでご確認ください。多くの皆様のご参加を期待しています。

出欠の返信ハガキは必ず返送してください。

会員の皆様からの一言・二言をお待ちしています。

事務局長 田代 周